

令和8年度みんなで支える森林づくり南信州地域会議 会議録

日 時 令和8年8月5日（水）14時00分～16時10分（予定は15時50分）

出席者 別紙出席者名簿のとおり

会議録

【あいさつ（大日方域振興局長）】

日頃から長野県の森林・林業行政の推進に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、ご多忙中にもかかわらず本日の会議へご出席を賜り感謝を申し上げます。本日は、森林税を活用した木造・木質化事業により整備された「カフェ素渦 soka」を会場として会議を開催しております。

森林税の成果を実際に体感していただける場となっています。このような施設が拡大していけばと思っております。

さて、長野県森林づくり県民税は、平成20年度からスタートし、現在は第4期計画がまとめの段階に入っていくところでございます。

県では今年度、森林税活用事業について、これまでの成果や課題を踏まえた見直しを行い、森林税の取組を加速化するため、前年度を上回る予算を確保しています。

事業の一例として、県産材利用の推進に向けまして、「木造・木質化支援事業」では、新たに木造建築の設計段階への支援を創設するとともに、市町村が活用できる対象施設を拡大するなど、制度の充実を図っています。

また、南信州地域振興局では、長野県総合5か年計画南信州地域計画に基づき、「地域資源のフル活用を目指した林業・林産業への転換」を取組の一つとして進めているところでございます。

生産性向上に向けた支援や、木材利用の促進に向けた取組を進めるとともに、森林税を活用しながら、主伐・再造林の推進など、持続可能な森林づくりに取り組んでおります。

本日は、森林税を活用した事業について、昨年度の実績と、今年度の実施計画を中心に説明をさせていただくが、先ほどの現地視察（木造・木質化支援事業）の感想なども含め、それぞれのお立場からご意見を承りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【自己紹介】

構成員自己紹介

【座長】

最初に会議事項について、地域振興局から説明いただき、その後、質疑・意見交換を行いたい。

会議事項(1)長野県森林づくり県民税の概要について、(2)南信州地域での主な長野県森林づくり県民税の活用事業について、一括して説明をお願いしたい。

【地域振興局】

会議事項(1)について、資料1、2により事務局（逸見林務課長）説明

会議事項(2)について、資料3により事務局（各係長）説明

【座長】

それでは質疑意見交換に入る。説明のあった資料及び先ほど現地視察をしていただいた感想なども含め、皆さんから質疑やご意見をお話いただきたい。

【構成員】

資料2のP28 みんなで支える森林づくり推進事業で森林税の認知度が低いとある。

今幅広い事業を説明いただいたが、例えば高森町では、学校近くの山林を整備をしていて、私が高森中学出身ということもあるが、身近で重要なことをされている。熊対策などもしていただいているので、広報活動を引き続き頑張っていただきたい。

新聞やラジオも良いが若年層に弱いので、Instagram、YouTubeを活用いただき、幅広い世代に訴求して欲しい。

カフェ soka さんの活動大変重要だと思う。今回の会議とは関りないかもしれないが、こちらの建物、このままだと廃校になってただ建物があるだけになって（負）動産になってしまう。こういった事業を活用して人が集まる場所にしていくことは過疎地域にとって重要な取り組みになると思う。こちらの施設では、カフェだけでなくボルダリング、おもちゃの広場もされているとの事。Instagram等で発信して、子育て世代に見てもらい、そこからまた広がると思う。補助金が活用されているので県民、市民にPRして行ってほしい。

【事務局】

昨年度の会議でSNSを利用した広報が効果的のご意見をいただいたため、本年度、Instagramを活用した広報も計画したところ。若い世代にも知って頂ける広報をしていきたい。

【構成員】

資料（みんなで支える森林づくりレポート）P9 再造林の加速化事業。これは補助金のかさ上げをする事業だと思うが達成率62%になっている。一方で植栽したくても、補助金がなくてできない、苗木がないといった話も聞く。この達成率の低調は実施面積が少ないためか、かさ上げする国庫補助金が予算不足だったためなのか。

【事務局】

今年度南信州管内では、再造林に関して、計画に対し補助金は100%予算がついている。昨年は森林所有者の承諾が得られなかったことや労務の不足による不実行の事例があった。

【構成員】

まちなかの緑地整備事業について、これは林務ではなく建設や公園の予算なので、県

民からすると、森林整備事業に対して使われるべきと思っているが、林務でないところに使われるのは違和感がある。建設部か環境部の予算でやるべきと自分は思うが。

予算消化のために他部局へ「なにかやりたい事業ないですか？」と言ったようにしか見えませんが？

【事務局】

この事業については平成 30 年（第 3 期）から、県民の方が幅広く恩恵を受けるものとして実施している

【構成員】

林業補助金の要望

架線集材をやっているが、補助金は 1 t 未満のラジキャリにも満たない金額なので、それで架線集材をしと言われても厳しい。集材費の同額の補助金にできないか？

【事務局】

補助単価は標準単価方式を取っている。また、実際に民有林で行われている架線集材のほとんどは 1 t の設計となっているところ。

【構成員】

15、16 年前まで松川で勤務していて東小学校も仕事の関係で周辺の森林整備などで来ていた。そのときは普通の学校だったが、今日来てみたら、沢山木を使ってぬくもりのある感じに様変わりしてびっくりした。こういった形で、廃校になってしまったところを活用して、地域の皆さんの拠り所になるのは素晴らしい。所有はどうなっているのか？

【事務局】

所有は松川町。管理については町と委託契約を締結しており、田中様が管理している。

【構成員】

間伐について、今年は直接支援事業で間伐に対する補助金の利用が難しくなってしまったことが一番困っている。みんなで支える里山整備事業では既に間伐してあるところは 2 回目の間伐は補助対象外なので、森林経営計画はあるのですが困ってしまっている。

直接支援事業と同じく 5 年以上間隔をあければ施業の必要のある箇所については補助対象とするような形にご検討を願いたい。また、間伐について、今年は市町村林・財産区有林の補助金は熊対策事業でしかないような状況になっている。市町村有林・財産区有林は所有山林面積が比較的大きいので、市町有林を優先的とするのは難しいかもしれないが、周辺の民有林と一体として整備すれば良いなどと要件等を考えていただき適期に補助金を活用して施業できるようご検討してもらいたい。

【事務局】

みんなで支える里山整備事業は森林税を財源としており、県内でより多くの間伐の必要な箇所を活用することを目的としていることをご理解いただき、間伐については今一度施業の必要性について再度検討し、他事業での実施も併せ検討のうえ施業してもらい

たい。

公有林の間伐については直接支援事業でも対象となるよう検討中です。

【構成員】

林務の関係ではないかもしれないが、河川沿いの支障木の伐採について。

当初の頃、伊久間の方の境の沢という川で支障木の伐採を計画の段階では見送られてしまった内容なのかと思うが、市町村森林整備支援事業、とてもいい内容ではないかと。

県民税は県民が払っていて、森林税なので山に使っていただければということでしょうが、場所取りということではなく、河川だろうが道であろうが、県の方が担当する部署が違ったとしても、森林税がこのように安全のために活用されてるのはとても良いことだと思う。

若い人への広報について。県民共同など若い人は興味沸かないと思う。このような身近な安全につながっているというのが広報として良いのではないかなと思う。

【構成員】

ライフラインの保全で市が管理者として道沿いの伐採等している。飯田市の建設部でも補助制度を作って対応しているが、なかなか要求に対して全て応えることができていない。県民、市民の安全を確保するという側面もあるため市町村森林整備支援事業の引き続きの支援と予算の拡充をお願いしたい。

クマの出没も錯誤捕獲が現時点で昨年と同じくらいになっている。シカの駆除に支障もあり、猟友会の方が日に何回もワナの見回りをしたり農家や地元の方が緩衝帯で刈払いを実施しているが、地元だけではやりきれないので管理だけではなく継続的な刈払いについても支援がないか相談させて頂きたい。

かなり昨年から松くい虫被害が拡大しつつある。

衛生伐（国庫）について、対象となるか判断が難しい。微妙なところや見極めのところも一緒に現地見て欲しい、また、事業の拡充をお願いしたい。

以上要望となります。

【座長】

一通りご発言いただいたところですが、本日欠席の方から事前にご意見がありましたら、ご照会と回答をお願いします。

【事務局】

欠席の構成員から、今回の視察場所等、県産材を利用した建物などをまとめて見る事のできるWEBページがあると良い。とのご意見をいただいている。

【事務局】

本件につきましては、情報発信という点から、いただいたご意見を参考にし、一覧で見られる発信について検討したい。

【座長】

会議事項（４）について地域振興局から説明をお願いします。

【地域振興局】

会議事項（４）資料により事務局説明

【座長】

ただいまの説明について、ご意見・質問等お願いしたい。

【構成員】

一つお願いがある。国調が入っていないところ（飯田市大平など）では（境界）線がめちゃくちゃ。たかだか1町歩の場所を立会や確定するだけで10人工以上かかっている。測量にも人工がかかる。

所有者がわからなくて頓挫することもあり、皆伐のためにも境界の明確化、所有者を調べるのを優先的にお願いします。

わかっていて当たり前のところを、わかってなくて当たり前になっている。

【座長】

以上で、質疑・意見交換を閉じます。地域振興局では、本日のご意見等を森林づくり県民税の事業執行や、森林・林業の取組に活かしていただくようお願いする。

【閉会あいさつ（逸見課長）】

構成員の皆様。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。また、いろんな場面で拡充～継続のご意見いただきありがとうございます。

森林税第四期になりまして来年は5年目になります。10年度以降の検討が始まります。

そのような中で5か年の中でもベースである造林の補助金の予算状況が非常に厳しくなったりですとか、熊のほうは出没状況が非常に厳しくなったりですとか。

数年単位でも森林を巡る情勢はくるくる変わっていきますので、それらをいかに対処していくかも含めながら地域の意見を聞き、もう少し具体的にどのような対応ができるのか等も考えながら、県の方に意見等を出していきます。また、来年度予算に向けて意見を照会する場面がありますので意見等、整理していただいて随時挙げていただければと思います。引き続きご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。